

レジャーダイビング認定カード普及協議会
(Cカード協議会)
2009年8月定例会議議事録

◎ 開催期日：2009年8月20日（木） 午後16時00分より

◎ 開催場所：(株)パディジャパン 地下会議室

◎ 出席者（アルファベット順：敬称略）

☆BSAC JAPAN	株式会社エヌズ	星寄	浩一
☆CMAS=JEFF	株式会社ジェフ	後藤	勝之
☆DACS	セントラルスポーツ株式会社	市原	隆久
☆JCS	(株)日本海中技術振興会	佐藤	矩郎
☆PADI	株式会社パディジャパン	中野	龍男
☆SSI	株式会社SSIジャパン	栗山	禎尚
☆STRAS	水中活動研究所有限会社	岡本	康男
★オブザーバー	日本バリアフリーダイビング協会	山田	眞佐貴
★オブザーバー	社会スポーツセンター	瀬田	芳博

1. 進行／記録：事務局 宗田

2. 定例会議事録

① 第一号議案：「Cカードの意味」訴求の為の媒体資料の件

- HP掲載予定の「加盟各社エントリーレベルCカード一覧」とCカード同送用「ダイビング安全基準」カードについて、岡本氏から掲載文の修正案が出され、一部修正する事となった。
- 修正箇所
 - － 原案：スキル修得した証⇒修正文：スキルを修得する為の講習を終了した証
 - － 原案：ダイビング能力⇒修正文：ダイビング経験
 - － リフレッシュコースの必要性を追加
 - － 健康に関し、自己管理する事を促す文章を追加
- 事務局から、制作費用の見積もりが提出され、およそ29万円で制作し、加盟各社で分割することで承認された。

② 第二号議案：「スノーケリングの安全とCカード発行」について

- スノーケルは、正しい教育の基楽しむ必要がある事を、啓蒙していく事が決められた。
- 社会スポーツセンターが制作中のポスターのデータを譲り受け、C協HPからダウンロードする方向で検討していくこととなった。

③ 第三号議案：伊東ダイビングサービス建物壁面の共同看板について

- 後藤氏が、現地業者に看板制作費用の見積もりを依頼する事となり、費用面の確認後再度検討することとなった。

④ 第四号議案：潜水士免許取得徹底を周知について

- 加盟各社、自社メンバーに対し、周知する事が決定された。
- 加盟各社に於いて、各事業所に周知した後、周知した事業所の件数をC協事務局まで知らせ、事務局が集計し、ダイビング産業協会へ報告する事となった。

⑤ 第五号議案：高圧ガス販売届けの徹底を周知について

- 第四号議案と同様の計画となった。

⑥ その他

以上